

座学 『住まいと暮らしの未来を考える』

— 2010年度ミニセミナー実施趣旨 —

2010.09.01

公益財団法人 ハイライフ研究所

主任研究員 榎本 元

【趣旨】

<都市生活者を取り巻く様々な社会・経済変化>



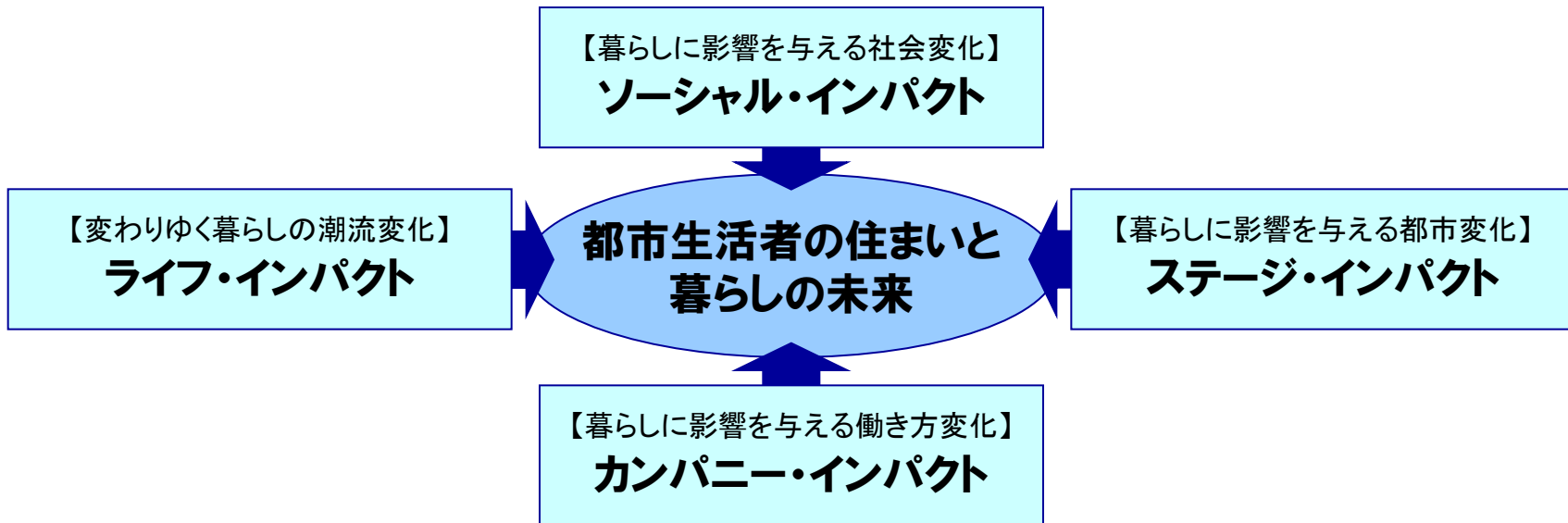
今日、都市生活者を取り巻く社会・経済環境は劇的に変わろうとしている。よりよい都市生活の実現を目指して、都市生活者を取り巻く変化要因(テーマ)を抽出し、10年後に訪れるであろう住まいと暮らしの未来について考えるきっかけとなるミニセミナーを実施する。

10年後、都市生活者はどのような生活基盤の上で、どのような住まいに住み、どのような暮らしを営んでいるのだろうか？

【テーマ設定の方向性】

ミニセミナーのテーマ設定は「新成長戦略」2010年6月18日に閣議決定された成長戦略実行計画(工程表含む)を参考とし、未来の住まいと暮らしに影響を与えるであろう要因を4つの大きなインパクトとして抽出、テーマの方向性とした。

- ソーシャル・インパクト ⇒ 社会全体の変化の中から、最も暮らしに影響を与えられと考えられる変化。
- ステージ・インパクト ⇒ 暮らしの基盤(舞台)である都市そのものの変化。
- カンパニー・インパクト ⇒ 女性や高齢者雇用、NPO、雇用不安などを見通した、生活する上で大切な働き方変化。
- ライフ・インパクト ⇒ 今後、暮らしていく上で必要とされるであろう潮流を見据えた変化。



【テーマ設定と手法】

4つの大きなインパクトの方向性に沿って、国、省庁、行政、各種研究機関などのレポート等を鑑みながら検討を重ね、各テーマを下記のとおり設定した。各テーマごとに専門家をお招きし、ミニセミナー（動画配信）を実施する。

